

その2 Pendant la grossesse 妊娠中

③ 検診について

妊娠は病気ではありませんが、妊娠したことがわかると、定期的に産婦人科で診察を受けることになります。この診察は胎児の成長をチェックするだけでなく、母体の健康状態さらに精神状態のカウンセリングもします。定期検診は、だいたい月に一回 Gynécologue(婦人科医)又は病院の産婦人科で行い、体重、子宮の状態、尿、血圧、血液の検査等を行います。また、Centre de planning familial や l'ONE(Office de la Naissance et de l'Enfance)でも診察を受けることができます。

妊娠後期特に末期は、母子の健康を十分把握する為に月に2回(医師によって違います)、時には毎週診察を受けることもあります。

さらに、エコグラフィー(超音波)検査というものがあります。エコグラフィーでは胎児の成長や胎盤の位置や大きさがわかります。このエコグラフィーはベルギーでは義務づけられていませんが、妊娠中2~3回(10~14週目と6ヵ月~8ヵ月目が目安)行われます。

このエコグラフィーで胎児の月齢、大きさ、内臓の成長状態をチェックし、さらには出産予定日、性別、双子か否かを知ることができます。エコグラフィーは胎児への影響は全くありませんが、胎児が嫌うという最低限しか行わない産婦人科医もいます。



その3 pendant l'accouchement 出産

① 出産時のキネジストの役割

キネジスト(通称"キネ")はとても心強い存在です。一緒に出産に立ち会うご主人以上かもしれません。

妊娠期間中キネからは呼吸法を学びます。それから例えば陣痛が5分おきに2時間(第一子の場合)、10分おきに2時間(第二子の場合)続いたら病院へ行くこと等その他の分娩の正しい知識を教わります。病院へ付くと受付を済ませて、検査を受けます。ここでまだ早すぎると家へ返されることもあります。いよいよ陣痛室へ入ると、モニタリン(モニター:胎児の心拍数や陣痛の間隔を計測する機械)をおなかに付けて待つ訳です。

ここでキネジストの出番です。もしあなたが不安ならこの時点からキネを呼んでもらうことができます。一緒に陣痛につき合ってくれるのです。もちろん、分娩室にはいる前から来てもらうこともできます。さて、分娩室ではあなたの側にご主人、もう一方にキネが立って呼吸法を指導してくれます。お産の進行によって陣痛の間隔が違いますので、呼吸法も何通りかあります。陣痛の間隔が短くなっていくと、痛みが続くのですから気持ちがコントロールできなくなり、パニックになったりします。しかしキネがいると、キネの言う通りにしていれば良いのですから混乱しなくて済みます。呼吸法をリードしてくれたり、ずいぶん励みになります。出産後、その場でマッサージをしてくれることもあります。ここまでするキネの主な役目ということになるでしょう。その後は、入院中病室を訪ねてきて母体回復のための体操を指導してくれたり、退院後は希望すれば定期的に産後の体操に通うことができます。

